

女川原子力発電所に係る安全協定を締結しました

4月20日(月)、県庁を会場に、宮城県立会いの下、本町を含むUPZ市町(2市3町)と東北電力株式会社とにおいて「女川原子力発電所に係る登米市、東松島市、涌谷町、美里町及び南三陸町の住民の安全確保に関する協定」を締結しました。

この協定では、女川原子力発電所の保守運営に係る関係法令等の遵守や積極的な情報の公開、異常時の通報連絡、立入調査のほか、女川原子力発電所の運転等による損害の賠償などについて定めています。

また、この協定に併せ、UPZ市町と宮城県において「女川原子力発電所周辺の安全確保に関する協定書に係る覚書」も取り交わしました。

この覚書は、宮城県が、女川原子力発電所施設の新増設等協議に関し東北電力株式会社に回答をする際に、回答の内容についてあらかじめUPZ市町に説明すること、その説明に際してUPZ市町から意見等があったときは、その意見等を付した上で回答することについて定め、取り交わしたものです。



(写真左から、東北電力社長、涌谷町長、東松島市長、登米市長、美里町長、南三陸町長、宮城県環境生活部長)

新しい学びの場



肉厚で甘みのある

4月26日(日)、バイサイドアリーナ特設会場にてホタテまつり福興市が開催されました。今回で46回目となるこの市は4周年という節目を迎えました。市の始まりにはホタテや各店の品と交換できる券が入ったあたり付きの餅まきが行われ、来場者は懸命にまかれる餅に手を伸ばしていました。会場では肉厚と甘みの特徴の三陸産ホタテの販売が行われたほか、炭火焼きコーナーも設置され、来場者は焼き立てのホタテを堪能しました。



4月16日(木)、戸倉地内の現場にて戸倉小学校の新校舎建設工事の上棟セレモニーが行われ、全校児童や教職員、PTA、町関係者らが出席しました。餅まきを行った後、児童たちは建設途中の校舎内に入り、新しい学びの場を見学、高所作業車や塗装などの体験を行いました。塗装体験では校舎の内壁にペンキで色鮮やかな7色の虹を完成させ、今年2学期の開校より一足早く、新しい学びの場に思い出を作りました。

ゴールデンな3日間

5月3日(日)から5日(火)の3日間、伊里前福幸商店街において福幸青空テント市、神割崎駐車場において復活潮騒まつりが開催されました。天候にも恵まれた中、会場ではさまざまなイベントが企画され、各店舗には三陸の幸などが並び、両会場とも家族連れなど大勢の人で賑わいました。



救助犬の出動に関する協定を締結しました

町では、埼玉県久喜市に本部を置く「特定非営利活動法人日本搜索救助犬協会」と「救助犬の出動に関する協定」を締結しました。

この協定では、町内で土砂災害が発生した場合などに、倒壊家屋からの人命搜索のため救助犬の出動を受けることに関し定めています。

特定非営利活動法人日本搜索救助犬協会は、昨年8月の豪雨による広島市土砂災害現場における搜索活動に従事した実績も有し、また、昨年11月の南三陸町総合防災訓練においても、倒壊家屋からの人命救助訓練に参加いただいています。

